

(様式2)



2022年8月1日

京丹後市議会議長 様

会 派 名

創明

代表者氏名

永井 友昭

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和4年7月23日(土)から7月24日(日)
- 2 場所 神奈川県川崎市 KCCI ホール (7/23) サンピアン川崎 (7/24)
- 3 目的 第18回全国地方議員交流研修会 参加
混乱する世界情勢、長期化するコロナ禍にあっての自治体のあり方や
全国での実践について学びたい。
- 4 該当する政務活動費の使途項目 研修費
- 5 支出経費の内訳と金額
 - ①会場への往復旅費
 - ②7/23の宿泊費 ①と②の合計で49,330円
 - ③研修会参加費 15,000円
- 6 参加議員名 永井 友昭
- 7 活動成果の概要、所見
1日目、ウクライナ戦争と東アジアの平和についての講演を聞き、沖縄と全国の
米軍基地・自衛隊基地を抱える自治体の最新報告を受ける。一般のマスコミが伝
えないアメリカの戦略の本質を知り、日本各地での軍事的活発化の動きへの意味
を学習した。アメリカ第一の国のあり方を考え直すべき時に来ていると感じた。

2日目、午前中。日本の農業の現状（自給率37%）と農業振興こそ安全保障への道であるという講演といくつかの地域の農業をめぐる新しい動きの報告を受ける。国が農業を守ることこそが日本の自立化と国力増強に繋がるというかねてからの思いを更に強くさせる学習となった。

2日目、午後。生活困難者の増大の実態と行政のあり方についての講演と東京都における困難者支援と行政のあり方の報告を受ける。生活保護という制度へ行き着けない困難者が増大している実態に瞠目させられた。

8 成果物、資料等

最新の著名な研究者によるリアルな現状分析と各地からの実践報告によって多くの新たな知見を得ることができた。様々な会派の約20名の道府県会議員、約50名の全国の市議会議員の方と交流を持って日本の進路についての危機感を共有することができた。